

まず、主イエスは、父なる神にご自分の霊を委ねているのに対し、ステファノは、救い主イエスに自分の霊を委ねます。子なる神と父なる神の同質性を語ります。主イエスの命は父に捧げられました。ステファノは、キリスト者は、主イエスに、三位一体の神に自らを捧げ、委ねます。

次にあげられる主イエスとステファノの違いは、最後に叫んだ言葉です。主イエスは、息を引き取られる前に、「わたしの霊を御手に委ねます」（詩編31編6節）と叫ばれました。しかし、ステファノでは順序が逆で、ステファノが最後に叫んだ言葉は、むしろ主が先に祈った祈り「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」でした。つまり、ステファノは、最後の最後に、怒りにとらわれ自らを迫害するユダヤ人、神に選ばれた民の罪の赦しを祈り上げたのです。なぜでしょうか。聖霊降臨後は、すなわちキリストの十字架と復活の後です。復活の主イエスがおられる、この命の冠をすでに受けているお方を知りつつ、命を委ねます。ステファノの殉教は、キリストのゆえに復活の命において勝利を知っています。では、最も重要な祈りとしてステファノが罪の赦しを祈ったのはなぜでしょうか。

聖書には多くの罪の赦しの意味を知らせる言葉があります。主は言われました。「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである」（マタイによる福音書5：44～45）

ステファノの石打ちの場面とは異なる結末を迎えたヨハネ福音書の石打ちの有名な場面があります。罪深い女に人々が石打ちの刑をしようとしていました。この律法の解釈で、ユダヤ人の長老たちは、主イエスを試そうとしていました。けれども、主イエスは、言われました。「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」（ヨハネによる福音書8：7）すると、誰も石を女に投げることはせず、できず、年長者から一人、また一人と立ち去っていききました。人は全て罪人であることを、また主イエスの言葉の前に罪を顧みる機会を受け止めたものたちの姿があります。先ほどご一緒に祈りました主の祈りで、罪をお赦しください、私たちも罪を赦しますと祈ることは重要な意味があります。

ステファノを襲ったユダヤ人たちは、全ての人間が罪人であるという深い認識に導かれず、むしろ妬みと怒りに支配されておりました。ステファノの石打ちの場面を、いくつもの画家たちが描いておりましたが、その投石のユダヤ人の顔を見ていると、自分こそ裁き手であるという激情に囚われているようです。最高法院ではこのように、人間の判断による裁きが行われました。しかし、全ての人は、神の裁きの前に立っています。神の法廷では、神の義によって判決が下されます。最高法院では悲痛な結果に導かれるステファノですが、神の目が僕ステファノを見つめています。

そしてステファノは、天を仰ぎ、神の栄光と父の右に立たれるイエスとを見ました。ステファノが見つめている神の栄光、その中心には、キリストの十字架があり、赦しの祈りがあり、ご自身を罪人のために捧げる義と愛がありました。

ステファノは、神の栄光を見て、自分を迫害するものたちのために赦しを祈りました。キリストがそのようになさったからです。何より、キリストが忠実さにより、まずステファノを赦して救い

に入れてくださったからです。まず、私を赦してくださった神のために、キリストの弟子であるわたしも、自分に負い目のある人のために赦しの祈りを捧げます。

このテキストは、<栄光「ドクサ」>（55節）という言葉のごろ遊びがあり、<右「デクスイオン」>（55節）、<お受けください「デクサイ」>（59節）というふうに、韻（頭韻）を踏んでいるように見えます。ステファノ殉教物語のうちには、神の栄光が満ちている、そのようにお聞きして良いと思います。

ステファノの危機は、初代教会の危機には、神の栄光、キリストの栄光が満ちています。神の栄光は前進します。ステファノと入れ替わるように現れた青年サウロ、後の使徒パウロがこの迫害に賛成してこの場にいました。弟子ステファノの罪の赦しの祈りは、この後復活のイエスから啓示を受けるファリサイ派の青年にも注がれていました。このサウロが神の栄光にお仕えしていくこととなります。三位一体の神様の御業は、私たち人の思いを遥かに高く超えています。そして、命の冠を与えんとご自分の民の救いを前進させてくださるのです。

祈 天の父なる神さま。復活節第7主日の礼拝に感謝いたします。聖霊が注がれ、多くの弟子が恵みと力に満ち、福音を宣べ伝えました。危機や試練にあっても、復活の主がお与えくださる希望を見上げ続けることができますように。キリストの弟子として、私たちが主の栄光のためにあなたに忠実にお仕えしていくことができますように。

主イエスの御名によって祈ります。 アーメン

祈 禱（各自、自由にお祈りください）

祈 禱課題 新型コロナウィルスの収束と働くすべての方を覚えて
銀座教会教会員の健康と信仰を覚えて
求道者の方々の救いを覚えて
世界の諸教会の上に聖霊が注がれますように
-来たるペンテコステ礼拝を覚えて（5月31日）

讚美歌 338 主よ おわりまで

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン